

コロサイ書 1章 15-23節 「御子のうちに宿る神の本質」

神の御子であるイエスキリストは万物よりも先に存在し、万物を創造された神御自身です。その御子は罪に堕ちた私たちと神との和解を成し遂げるために十字架の上で御自身を犠牲にし、私たちへの愛をあらわされ、私たちを新たにつくり変えてくださるお方です。この御子こそが神の本質なのです。

1. リーディング Reading 聖書を読みましょう

- ・しるしを付けながら、コロサイ人への手紙 1章 15-23節を読みましょう。
- 「？」…疑問に思う語句や文章 「！」いいなとおもう語句や文章
- ・なぜ疑問に思ったのか（「？」を付けた語句や文章について）、またどうしてその語句や文章がいいなと思ったのか（「！」を付けた部分について）、自由に分かち合ひましょう。

コロサイ人への手紙 1章 15-23節

1:15 御子は、見えない神のかたちであり、造られたすべてのものより先に生まれた方です。

1:16 なぜなら、万物は御子にあって造られたからです。天にあるもの、地にあるもの、見えるもの、また見えないもの、王座も主権も支配も権威も、すべて御子によって造られたのです。万物は、御子によって造られ、御子のために造られたのです。

1:17 御子は、万物よりも先に存在し、万物は御子にあって成り立っています。

1:18 また、御子はそのからだである教会のかしらです。御子は初めであり、死者の中から最初に生まれた方です。こうして、ご自身がすべてのことにおいて、第一のものとなられたのです。

1:19 なぜなら、神はみこころによって、満ち満ちた神の本質を御子のうちに宿らせ、

1:20 その十字架の血によって平和をつくり、御子によ

て万物を、御子のために和解させてくださったからです。地にあるものも天にあるものも、ただ御子によって和解させてくださったのです。

1:21 あなたがたも、かつては神を離れ、心において敵となって、悪い行いの中にあつたのですが、

1:22 今は神は、御子の肉のからだにおいて、しかもその死によって、あなたがたをご自分と和解させていただきました。それはあなたがたを、聖く、傷なく、非難されるところのない者として御前に立たせてくださるためでした。

1:23 ただし、あなたがたは、しっかりとした土台の上に堅く立って、すでに聞いた福音の望みからはずれることなく、信仰に踏みとどまらなければなりません。この福音は、天の下のすべての造られたものに宣べ伝えられているのであって、このパウロはそれに仕える者となったのです。

2. フォーカス Focus 焦点を絞りましょう

- ・内容観察：ここにはどんなことが書かれていますか？内容をまとめて自分のことばで言い表しましょう。

- ・フォーカス：当該聖書がフォーカスしていることは何ですか？（複数可）簡潔にまとめましょう。

3. スタディ Study 次の質問を手掛かりにして一緒に聖書を学びましょう

(1) (15-18 節)「御子」はどのような方として書かれていますか？

(2) (19 節)「神はみこころによって、満ち満ちた神の本質を御子のうちに宿らせ」たとありますが、イエスが完全な人間でありながら完全な神であることについてどう思いますか？

(3) (20 節)「御子によって和解」とありますが、その和解はどのようにしてもたらされたのでしょうか？

(4) 21 節と 22 節では私たちと神の関係のいわば Before/After が提示されていますが、この変化をどのように思いますか？
また、クリスチャンの方は自分が経験した変化や和解について分かち合ってみましょう。

(5) (23 節) 一般的に人々の抱く望みや期待と福音の望みにはどのような違いがあると思いますか？

(6) パウロが 23 節で「福音の望みからはずれることなく、信仰に踏みとどまらなければなりません。」と言っていますが、これはコロサイの人々が当時あやまった教えや考えに惑わされていたからです。私たちの日常生活の中でイエスキリストの福音から私たちを引き離すものがありますか？信仰に踏みとどまるために私たちは何が出来ますか？

4. アプリケーション Application 人生に適用しましょう

・この聖書の学びによって新しく知ったことや気づかされたことを自由に分かち合いましょう。